

第16回ヒューマンライツセミナー 立ち上がりつながらるマイノリティ女性 アイヌ女性・部落女性・在日朝鮮人女性によるアンケート調査報告



日時： 2007年9月19日(水)13時半～16時20分
場所： 東京都中央区立中央会館(銀座ブロッサム/電話 03-3542-8585)
アクセス： 地下鉄 有楽町線 新富町駅1番出口 徒歩1分
日比谷線・都営浅草線東銀座駅3・5番出口 徒歩8分
参加・資料代： 3,000円(書籍『現代世界と人権21』を含む)
*要約筆記を希望される方は、8月31日(金)までに以下の事務局までお申し込み下さい。

— 私たちを語るすべての言葉を集めたい —

先住民族であるアイヌの女性、被差別部落の女性、在日朝鮮人女性が、その構想から数年。遂に自分たちの手でアンケート調査を実施し、その結果をまとめました。この調査は3つの主体が教育、仕事、社会福祉、健康、暴力の分野で共通設問を設定した、はじめての調査です。

身分制度・先住民族同化政策・植民地主義の歴史は学校では十分教えられず、多くの人がある現在へのつながりを知らないのが現状です。また、特にその集団に属する女性がどういう問題に直面しているのか、これまで見過されてきました。

これまで記録されてこなかった女性たちの経験。言葉と数字にしてつむぎだされた協働の結晶は、あらゆる人びとが耳を傾けるべき内容です。この調査の結果を知ることは、私たちが生きる社会のありようを知ることです。女性たちの声を聞くことは、私たちの課題を知ることです。

そのような思いから、今年のヒューマンライツセミナーでは、調査を実施した女性たちにお話いただき、調査の結果が問いかけていることを共に考えてみたいと思います。また、調査報告は書籍として同日発刊し、セミナー参加者の皆さんにお渡しします。

立ち上がりつながらる女性たちは、皆さんの参加を歓迎します。



パネルディスカッション

多原良子さん(社団法人北海道ウタリ協会札幌支部)
山崎鈴子さん(部落解放同盟中央女性対策部)
梁愛舜さん(アプロ女性実態調査プロジェクト)
コーディネータ:原由利子(IMADR-JC)

主催:第16回ヒューマンライツセミナー実行委員会

反差別国際運動日本委員会(IMADR-JC)・世界人権宣言中央実行委員会・部落解放同盟中央本部・同和問題に取り組む全国企業連絡会・『同和問題』にとりくむ宗教教団連帯会議・日本教職員組合・I女性会議ほか【順不同】

お申込み・お問合せ先:第16回ヒューマンライツセミナー実行委員会事務局

反差別国際運動日本委員会(IMADR-JC) 〒106-0032 東京都港区六本木3-5-11

TEL:03-3568-7709 FAX:03-3586-7448 E-mail: imadrjc@imadr.org/URL: <http://www.imadr.org>